

## JENESYS2021 日カンボジア・オンライン交流 (スポーツ・柔道) の記録

### 1. 概要

【目的】スポーツ（特に柔道）に関心のあるカンボジアの青少年が、柔道の理念に関する講義とその実技指導により包括的に柔道の理解を深めることを通じて、対日理解の促進を図ることを主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】 カンボジアの高校生・大学生・大学院生・社会人 計 30 名

【訪問地】 東京都、岐阜県、愛知県

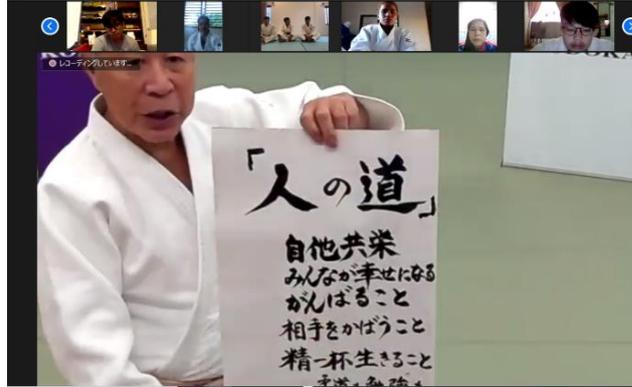
### 【日程】

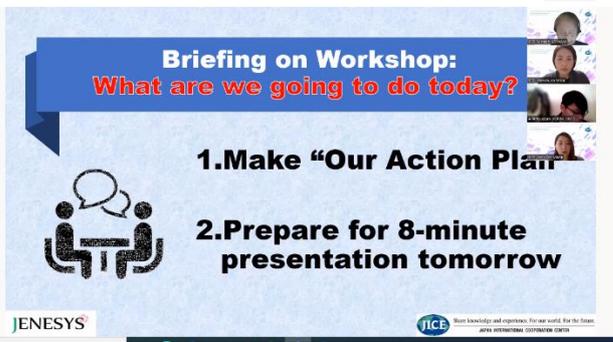
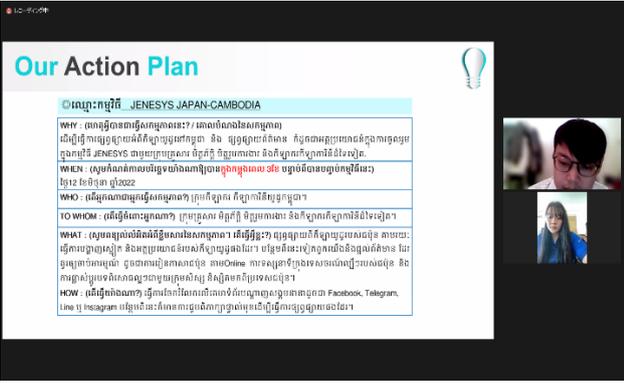
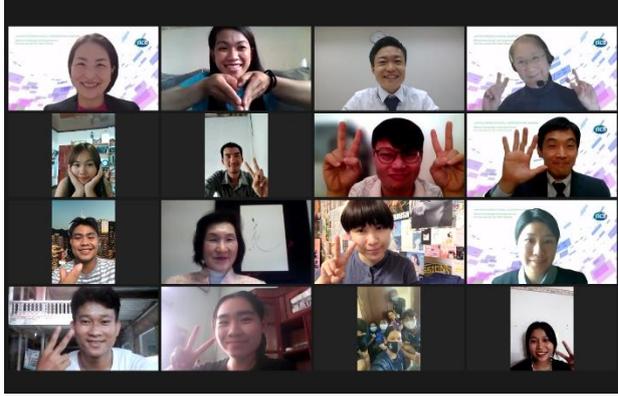
日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下の 2 日間の参加人数：16 名		
2021 年 10 月 25 日 東京都	<b>【ウェビナー・質疑応答】</b> 1. 開会・JENESYS 概要説明 2. 講義・質疑応答 柔道総本山 講道館 「柔道の理念」 ※実技指導含む 講師：講道館 道場指導部長 鮫島 元就 氏 3. 記念撮影 4. SNS 投稿・閉会	講義では講師が安座を促すまで正座で熱心に聞き入る参加者も多く、講師実演中は同じ動作をするなど真剣に聴講していました。質疑応答では「柔道を通じてどのように自信とメンタルヘルス面を高めることができますか」「柔道を学校のカリキュラムに導入することは、子どもの教育にどのような効果をもたらせるか」「何歳で柔道を始めたか。また、どのようにして柔道の厳しい鍛錬を継続され、現在指導者になったか」「どうすれば柔道の練習を継続することができるか」といった質問が寄せられ、より深く柔道を学びたいとの姿勢が感じられました。最後には、講道館を訪問し柔道をしたいという意見も出され、実りのある交流になりました。
以下、7 日間の参加人数：14 名（以下のプログラムは他のプログラムと一部合同で実施）		
2022 年 3 月 2 日～	<b>【動画視聴】</b> 1. 外務省挨拶 2. ホストタウンの取り組み 3. ホームビジット体験	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。

<p>2022年 3月9日 東京都</p>	<p>【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】</p> <p>1.オリエンテーション</p> <p>2.日本語レッスン（初級） JICE 日本語講師</p>	<p>オリエンテーションでは、参加者の多くが同じ柔道クラブからであったため打ち解けた雰囲気始まり、本プログラムにおける参加者の役割・ミッションについて説明を熱心に聞いていました。日本語レッスンは少人数に分かれて実施され、参加者一同、積極的に参加し非常に楽しんでいました。</p>
<p>2022年 3月10日 岐阜県 大垣市</p>	<p>【武道体験、ウェビナー・質疑応答】</p> <p>1. 講義 「居合道について」 講師：岐阜世界青年友の会 加藤晴彦氏、寺町 義男氏</p> <p>2. 居合道の演武</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>4. 集合写真撮影</p>	<p>柔道や剣道はカンボジアでもよく知られていますが、居合道については知識がない参加者が多く「日本の武道について、新しい知識を得ることができた」と多くの参加者が語っていました。特に、攻撃ではなく身を守ること、心と体を鍛え礼節を学ぶという武道の精神に関心を持っていました。質疑応答では、「見せていただいた日本刀は反りがあるものばかりだが、反りがない真っすぐな日本刀はあるか」「何年続ければ5段、6段を取得することができるか」「長年居合道が続けてこられて、辞めたいと思ったことはあるか。その時どのようにして乗り越えたか」等、多くの質問が挙がりました。</p>
<p>2022年 3月11日 愛知県 名古屋市</p>	<p>【自治体講義、質疑応答】</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 講義 「名古屋市について」 講師：名古屋市観光文化交流局観光交流部 主幹（観光プロモーション担当）大塚 勝樹氏</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>4. 集合写真</p> <p>5. 閉会</p>	<p>今回の参加者は、柔道経験に加え、日本語を学びたいと思っている学生も多かったため、日本への関心が強く、大変興味深く聞き入り、多くの質問が挙がりました。主な質問として「本丸御殿に入ることはできるか」「“名古屋めし”の中でも人気のものは何か」「名古屋観光に行くとしたら、ホテル代や1回の食事代はいくら位かかるか」「名古屋めしで1位になったのがひつまぶしだが、日本ではうなぎの生産量を保つため、養殖にはどのような決まりがあるか」等が挙がりました。また、参加者からは、「カンボジアの観光地はアンコール遺跡という歴史的な観光資源に限られているが、名古屋は食、歴史、環境、科学技術など様々な分野で観光を楽しむことができるという点がとても興味深かった」との意見がありました。</p>

<p>2022年 3月12日 愛知県 江南市</p>	<p><b>【学校交流】</b> 交流校：学校法人滝学園 滝高等学校 柔道部（愛知県）14名</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 挨拶 <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝学園生徒代表、</li> <li>・カンボジア参加者代表</li> </ul> </li> <li>2. 発表及び質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝学園（学校紹介、柔道について） 質疑応答</li> <li>・カンボジア側参加者（柔道の魅力） 質疑応答</li> </ul> </li> <li>3. 纏め</li> <li>4. 集合写真撮影</li> </ol>	<p>カンボジアの参加者は柔道経験者のため、滝学園の武道に関する発表を大変興味を持って聴講していました。また、柔道部の中高生に対して積極的に質問する姿が見られました。主な質問は次の通りです。「柔道を始めたきっかけ何か」「柔道の練習は男女別、体重別に行うのか。又は混合で練習するのか」。また、滝学園の中高生からカンボジア参加者に対して「柔道から学んだことは何か」という質問がなされ、「柔道から学んだことは勝敗のみにこだわらない考え方や清潔さを大事にする生活習慣に至るまでスポーツという枠に留まらない」と熱く語る姿が見られました。</p>
<p>2022年 3月14日 東京都</p>	<p><b>【ワークショップ】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクション・プランの作成</li> <li>2. 報告会に向けた発表準備</li> </ol>	<p>ワークショップ前日からグループ発表の内容について協議し、ワークショップ当日は詳細部分の議論に時間を費やしていました。参加者は、同じ柔道クラブのメンバーであるため、チームワークの良さを発揮しみんなで作りあげていました。</p>
<p>2022年 3月15日 東京都</p>	<p><b>【報告会】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 発表</li> <li>3. 講評 岐阜世界青年友の会 事務局長 臼井千里 氏</li> <li>4. JICE からのお知らせ、閉会</li> </ol>	<p>代表して各グループ2名から発表を行い、他メンバーもグループの一員として見守っていました。両チームとも制限時間いっぱい熱心な発表を行いました。</p>

## 2. 記録写真

	
<p>2021年10月25日【ウェビナー・質疑応答】講義開始にあたり挨拶する参加者</p>	<p>2021年10月25日【ウェビナー・質疑応答】講師の話を熱心に聞く参加者</p>
	
<p>2021年10月25日【ウェビナー・質疑応答】実演と参加者</p>	<p>2021年10月25日【ウェビナー・質疑応答】参加者全員での集合写真</p>
	
<p>2022年3月9日【オリエンテーション】</p>	<p>2022年3月9日【ウェビナー・質疑応答】日本語レッスン</p>

	
<p>2022年3月10日【武道体験】</p>	<p>2022年3月11日【自治体講義、質疑応答】</p>
	
<p>2022年3月12日【学校交流】</p>	<p>2022年3月14日【ワークショップ】</p>
	
<p>2022年3月15日【報告会】プレゼンテーション</p>	<p>2022年3月15日【報告会】集合写真</p>

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 参加高校生

柔道のさらなる練習で私たちのスキルと能力を向上させるため、柔道のすべての技術を時間をかけて注視したいです。

#### ◆ 参加高校生

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、1年近く道場で柔道の練習をすることができませんでした。このプログラムは多くのことを学び、オンラインで柔道を習うことを奨励しています。これは柔道に対して前向きに考え行動することです。実際に会うことはできませんが、今日のようなスポーツを通じて良いコミュニケーションになりました。

#### ◆ 参加大学生

日本文化、特に日本語について勉強できてとてもうれしかったです。

#### ◆ 参加大学院生

今回よりもっと長い期間のプログラムの方がよいと思います。

#### ◆ 参加社会人

スポーツを通して、カンボジアと日本両国間の関係と知識が強化されたと思います。大塚様の講義によって名古屋の観光名所や産業などの魅力について理解できました。

### 4. 受入れ側の感想（抜粋）

#### ◆ 受入校教員

カンボジアで柔道をしている人が思っていたよりも多かったです。皆さん、柔道をただの格闘技とはみなしておらず、柔道の礼節などの側面も評価していることが嬉しかったです。

#### ◆ 受入校教員

柔道というかなり限定的なスポーツでも、海外の方々と交流することができると分かりました。この経験をもとにして他の国とも交流してみたいです。

## 5. 参加者の対外発信

It is an honor to be a part of JICE's International Exchange Program. This program has improved my judo technique and improved my judo training skills. Thanks to Motonari Sameshima teaches us the influence of judo in our lives #jenesys\_asean

2h · 🌐

### 【JENESYS Online Webinar “Judo 柔道”】

The JENESYS online program for high school students and undergraduate students in Cambodia was held on October 25, 2021. Mr. Motonari Sameshima gave an instructive lecture on the origin of Judo, the importance of doing Judo beyond victory or defeat, proper etiquette, and so on. The lecturers also demonstrated practical skills, various throwing techniques.

We hope that the participants will come to Japan in the near future and do Judo with Japanese Judo player.

### JENESYS Online Webinar “Judo 柔道”



This was a great webinar related to Judo, which was hosted by JICE and lectured by Sansei Motonari Sameshima, Director of the Education & Instruction Department, Kodokan Judo Institute. It was such a honor. Even though the program was a bit short, but it was so many existing experiences and knowledge to learn, and correct our current training routine, especially we have understood the meaning of Judo, and what is it used to apply for our daily.

Finally, we are really grateful for such a good program and look forward to joining more to improve our training and technique.

Again, as a Cambodia Judoka, Thank for JICE's coordinators team and Sansei Sameshima, wish you good luck and healthy.

#JENESYS\_ASEAN

### JENESYS Online Webinar “Judo 柔道”



2021年10月25日（Facebook）

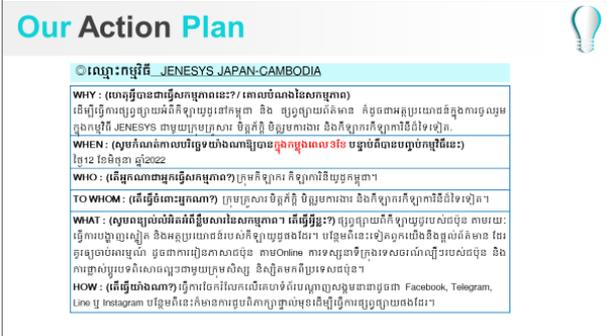
JICEの交流プログラムに参加できて光栄です。このプログラムに参加して、私の柔道の技術とスキルを向上することができました。柔道生活に影響を与え、ご教示してくださった鮫島元就先生に感謝いたします。

2021年10月25日（Facebook）

今回は、JICEが主催し、講道館柔道研究所教育・指導部部長の鮫島元就先生が講師を務める柔道関連の素晴らしいウェビナーでした。経験や知識を学んだことで現在のトレーニングを修正できて、特に柔道の意味を理解したことで日々の生活に役立てることができました。最後になりましたが、このような素晴らしいプログラムに感謝しており、トレーニングや技術の向上のために今後も参加したいと思っています。もう一度、カンボジアの柔道家として、JICEのコーディネーターチームと鮫島先生に感謝し、皆様のご多幸と健康を祈っています。



6. 最終報告会でのアクション・プラン発表

グループ 1	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施理由：カンボジアで柔道を広め、JENESYS プログラムに参加するメリットを家族や友人、柔道をしている人たちに共有するため。</li> <li>■ 実施時期：2022年6月12日</li> <li>■ 実施する者：私たちの柔道クラブのメンバー</li> <li>■ ターゲット：家族、友人、同僚、スポーツをする人たち</li> <li>■ 実施計画：柔道の技を披露して日本の柔道や柔道の良い点を広めます。さらに、日本語や日本の有名な観光地など日本の魅力的な情報をオンライン上で提供し日本人学生とオンライン交流します。</li> <li>■ 実施方法：Facebook、テレグラム、LINE、インスタグラムなどの SNS を利用して共有します。また対面でも協議していきます。</li> </ul>
グループ 2	
	<p style="text-align: center;">「学びを共有、実施するための 私たちのアクション・プラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施理由：日本の歴史、芸術、武道についての経験を広めたり、教えたり、交流するため。</li> <li>■ 実施時期：2022年5月5日</li> <li>■ 実施する者：グループのメンバーと柔道チーム</li> <li>■ ターゲット：友人、家族、学校（カンボジアの中学生、高校生）</li> <li>■ 実施計画：アンコール・ヤワラ柔道クラブが主催する盆踊り祭りにおいて日本の文化や武道（柔道を含めて）を紹介します。</li> <li>■ 実施方法：日本の伝統的衣装である着物を着て、日本の武道や伝統的な踊りを披露します。</li> </ul>

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)